

NAKATSUGAWA CENTRE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



クラブテーマ 「不遇流行」
～ロータリークラブのニューノーマルとは～

9月13日(月)例会は
9月16日(木)中津川RCとの合同例会の予定で
したが中止(休会)となりました。

岐阜県 緊急事態宣言発令中 9/30 まで

Coming Soon ～今後の例会プログラム～

- 9月20日(月) 法定休日(敬老の日)
- 9月27日(月) 通常例会 例会取り止め(休会) *定例理事会(リモート理事会 13:00)
- 10月4日(月) 7日(木)へ移動「岐阜東濃グループインターシティーミーティング」→ 中止延期(休会)
- 10月11日(月) 特別休会
- 10月18日(月) 通常例会(組織強化常任 増強選考分類委員会)
- 10月25日(月) 前期分・健康診断例会(奉仕プロジェクト常任 職業奉仕委員会) *定例理事会

※緊急事態宣言の延長など今後の状況によっては例会予定を変更する場合がございます。

連絡事項

- 9月12日までの緊急事態宣言が9月30日まで延長となり、9月27日(月)は例会が取り止め(休会)となりました。また、定例理事会はリモート理事会(ZOOM)にて13:00開始予定です。理事の皆様宜しくお願い致します。
- ロータリー財団(補助金管理)研修セミナーオンライン開催のお知らせ拝受
10月17日(日) 点鐘13:00 出席要請者:会長、会長エレクト、財団委員長、他希望者(2名以上)
- 浦田ガバナーからクラブへのメッセージ動画を地区ホームページにアップしています。
こちらから → <https://www.rid2630.jp/>
- ロータリー米山奨学会より「ハイライトよねやま」発行のお知らせ → 米山奨学会ホームページに掲載
- ゴルフ同好会コンペ開催:10月2日(土) ひるかわゴルフ場 9時58分スタート
- ガバナー杯チャリティゴルフ大会 岐阜東濃グループ予選大会:クラブから4名エントリー
10月14日(木) 瑞浪ベルフラワーカントリークラブ 9時28分アウト・イン4組ずつ同時スタート
(予選大会はIMの10/7(木)に開催予定でしたが、中止延期のため14日に変更されました)

他RC 例会変更案内

- 中津川RC: 9/23(木)法定休日
- 瑞浪RC: 9/17(金)特別休会
- 多治見RC: 9/22・9/29(水)休会(コロナ感染拡大防止)
- 多治見西RC: 9/30(木)特別休会
- 恵那RC: 9月28日(火)休会(緊急事態宣言により)
- 土岐RC: 9/27(月)休会(コロナ感染予防)
- 多治見リバーサイドRC: 9/21・9/28(火)休会(コロナ感染防止)



～飲食業と飲酒の関係～

会員の皆様こんにちは、本日は中津川ロータリークラブとの合同例会予定でしたが、残念ながら中止となってしまいました。

毎回コロナ感染症のことばかり述べてきましたが、このコロナ禍にあって思うところがありましたので述べさせていただきます。

飲食業の方々は非常事態宣言下で時短に加え酒類の販売が制限されているため大変な思いをされていることには本当に心が痛むところです。そんな中、日本の飲酒の実態についてネット上でちょっと調べてみました。

日本の飲酒人口は2018年の調査で飲酒可能年齢の男性50数%、女性30%、両者合わせて40数%が飲酒人口であるとのこと。そして飲酒量の7割を飲酒人口の2割が消費しているとの報告があります。コロナ禍における非常事態宣言、蔓延防止策により飲食店の飲酒が厳しく制限されています。ニュース番組では、飲食店へのインタビューでアルコールが提供できないのであれば店を閉める、といったものが毎日のように見聞きされました。

私が日々の診療で健康診断を行う際の間診でも、飲酒される方はほぼ半数、飲酒される方も晩酌程度が8割で毎晩2合以上飲まれる方は、その2割ほどと統計とほぼ合致しているようです。

日本人の飲酒人口は年々減少傾向にあり、飲酒量も減少しており、飲酒可能年齢層の1割弱が多量飲酒することによって成り立つマーケットであるとも言えるようです。

外食産業における飲酒の占める割合を考えると、アルコールが無くても成立する商売を考えることが必須ではないかと思うわけです。

私は下戸であるため、非常事態宣言下での店主のインタビューを聞くたびに、お前は店に来なくて良い、と言われていると同然のように感じて非常に不快な思いをします。これら居酒屋は実は狭いマーケットで客を取り合っていることに気が付いていないのではと思ってしまう。

アルコール飲料生産会社はSDGsの観点より不適切な飲酒の撲滅、新たな飲酒機会の創出を掲げております。アルコール販売大手の直営飲食店では飲み放題を中止するように方針転換が始まっています。

また、近々の医学会では酒は百薬の長、少量の飲酒は健康に良いといった今までの概念をことごとく覆す論文が発表されるようになりました。

これからの飲食業界にとっては、アルコールに頼ることなく、アルコールがあってもなくても成立するような手法を展開することが潜在マーケットを開拓し、拡大することができるのではないのでしょうか？

タイムリーなことに0.5%~1%という微アルコール飲料が関東でのテスト販売が好成績であったため、全国展開が始まりました。ビールからアルコール分を減らした新商品はノンアルコールビールではない普通のビールのような感覚をもたらしてくれます。今後の飲食マーケットの拡大に貢献する可能性があり、展開に期待できそうな予感があります。

下戸ならではの観点からの会長の時間でした。

以上

【お知らせ】 9月8日(水) ガバナー事務所より

～辻正敏パストガバナーから明るい嬉しいニュースが届きました～

「先週まで開催されておりました2020東京パラリンピック 女子マラソン(視覚障害)で金メダルを獲得された道下美里選手は2700地区 福岡中央エンジョイロータリー衛星クラブの会員であります。

同じロータリアンとして、とても嬉しい 勇気づけられますね。

既にご承知かもしれませんが、明るい嬉しいニュースとしてお届けします。」